



## 新機能および変更された機能に関する情報

- [Cisco DNA Assurance リリース 2.2.3 の最新情報](#) (1 ページ)

### Cisco DNA Assurance リリース 2.2.3 の最新情報

次の表は、Cisco DNA アシユアランス リリース 2.2.3.6、2.2.3.4、2.2.3.3、および 2.2.3 の新機能と変更された機能をまとめたものです。

表 1: Cisco DNA アシユアランス リリース 2.2.3.6 の新機能および機能変更

機能	説明
Cisco SD-Access : LISP と Pub/Sub セッション	[SD-Access Health] で、ファブリックサイトにおける [LISP] と [Pub/Sub] のセッションの監視がサポートされます。これらの KPI は、ファブリックサイト、SD-Access トランジット、トランジットコントロールプレーン、およびデバイスの正常性の計算に含まれています。  <a href="#">ファブリックサイトの正常性の監視</a> 、 <a href="#">トランジットおよびピアネットワークの正常性の監視</a> 、および <a href="#">デバイスの健全性のモニターとトラブルシューティング</a> を参照してください。

表 2: Cisco DNA アシユアランス リリース 2.2.3.4 の新機能および機能変更

機能	説明
Power over Ethernet (PoE) AP 電力モード供給ダッシュレット	完全に電力が供給されている AP と部分的に電力が供給されている AP の分布を表示できます。この情報を表示するには、メニューアイコン (☰) をクリックして、をクリックして [Assurance] > [PoE] を選択します。[PoE] ダッシュボードが開きます。  <a href="#">ネットワーク内の PoE 対応デバイスの監視</a> を参照してください。

機能	説明
仮想ネットワーク 360 ウィンドウ	<p>仮想ネットワークの詳細を表示できます。この情報を表示するには、メニューアイコン (☰) をクリックして、をクリックして <b>[Assurance]&gt;[Health]&gt;[SD-Access]</b> を選択します。</p> <p>仮想ネットワークの正常性の監視および仮想ネットワークの正常性スコアを参照してください。</p>
クライアントダッシュボードのワイヤレスクライアントのトレンドビューの機能強化	<p>クライアントの正常性サマリーでは、ワイヤレスクライアントのトレンドビューが強化されています。放射状棒チャートは、オンボーディングに失敗したクライアントの分布と、オンボーディング失敗の理由を示します。</p> <p>すべてのクライアントデバイスの健全性のモニターとトラブルシューティングを参照してください。</p>
Webex クライアント 360	<p>Webex クライアント 360 では、クライアントミーティングテーブルが次の列で拡張され、各ミーティングの全体的な状態を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• アプリケーション：Webex Control Hub によって報告された正常性スコアと KPI が表示されます。</li> <li>• ネットワーク：管理対象ネットワークデバイスからエクスポートされた NetFlow 経由で Cisco DNA Center によって報告された正常性スコアと KPI が表示されます。</li> </ul> <p>「クライアントデバイスの健全性のモニターとトラブルシューティング」を参照してください</p>
Cisco AI Network Analytics — クライアントエクスペリエンスに基づく無線インサイト	<p>Cisco AI Network Analytics は、機械学習アルゴリズムを使用して、潜在的にクライアントエクスペリエンスが低いワイヤレス AP を特定します。AP は長期間にわたって継続的に分析され、最適ではないクライアントエクスペリエンスを提供していると疑われる AP は、根本的な原因と提案される改善点によってグループ化されます。</p> <p>ワイヤレスアクセスポイントのパフォーマンスアドバイザリを表示するを参照してください。</p>

表 3: Cisco DNA アシュアランス リリース 2.2.3.3 の新機能および機能変更

機能	説明
アシュアランス のサイト階層サポート	<p>[Assurance] &gt; [Health] と [Assurance] &gt; [Issues] のダッシュボードが拡張され、[Overall]、[Network]、[Clients] などの正常性タブと、[Open]、[Resolved]、[Ignored] などの問題タブのサイト階層フィルタとサイトテーブルが表示されるようになりました。</p> <p>企業の全体的な健全性のモニターとトラブルシューティング、ネットワークの健全性のモニターとトラブルシューティング、すべてのクライアントデバイスの健全性のモニターとトラブルシューティング、未解決の問題を表示、解決済みの問題の表示、および無視された問題の表示を参照してください。</p>

次の表は、Cisco DNA アシュアランス 2.2.3 の新機能と変更された機能をまとめたものです。

表 4: Cisco DNA アシュアランス リリース 2.2.3 の新機能および機能変更

機能	説明
AP 360 のネイバークビューと不正ビュー	<p>AP 360 では、[RF] タブの下に [Neighbors and Rogues] セクションが表示されます。このセクションには、[Band] (2 GHz および 5 GHz)、[Type] (すべて、ネイバー、および不正)、[RSSI Range] (0 ~ -100 dBm) などのフィルタが含まれます。選択したフィルタに応じて、AP デバイスと Wi-Fi アナライザのグラフが更新されます。</p> <p>デバイスの健全性のモニターとトラブルシューティングを参照してください。</p>
AP 360 KPI	<p>[Device Details] エリアには、次の AP 詳細属性が含まれています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 一般情報：電源ステータス</li> <li>• ネットワーク情報：接続されたスイッチ</li> </ul> <p>[Connectivity] タブには、次の属性が含まれています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• イーサネット インターフェイス KPI の接続済みスイッチバナーが追加されました。</li> <li>• 無線固有 KPI の現在のチャンネルと拡張チャンネルが追加されました。</li> </ul> <p>[RF] タブで、無線固有 KPI の Clean Air ステータスと Tx Power が追加されました。無線固有 KPI の Tx Power およびチャンネル情報チャートが新たに追加されました。</p> <p>デバイスの健全性のモニターとトラブルシューティングを参照してください。</p>

機能	説明
アプリケーションアシュアランスとテレメトリの IPv6 サポート	<p>次のデバイスからの IPv6 トラフィックを監視し、監視データをアシュアランスダッシュボードに表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Cisco IOS-XE ソフトウェアバージョン 17.2.1 以降を実行している Cisco Catalyst 9300 シリーズおよび Catalyst 9400 シリーズ スイッチ。</li> <li>• Cisco IOS-XE ソフトウェアバージョン 17.3 以降を実行しているルータ。</li> <li>• Cisco IOS-XE ソフトウェアバージョン 17.3 以降を実行している Cisco DNA トラフィック テレメトリ アプライアンス。</li> </ul>
アプリケーションの正常性ダッシュボードに追加された専用 SSID フィルタ	<p>SSID フィルタオプションが[Assurance] &gt; [Health] &gt; [Application]ダッシュボードに追加されました。SSID フィルタオプションでは、SSID を選択できます。選択した内容に応じて、アプリケーションの正常性ダッシュボードの情報が更新されます。</p>
Auto Refresh	<p>Cisco DNA Center アシュアランスの正常性ウィンドウは、自動更新設定をサポートします。この設定オプションを使用すると、全体的な正常性、ネットワーク、クライアント、アプリケーション、デバイス 360、クライアント 360、Wi-Fi 6 などのアシュアランスウィンドウの自動更新機能を有効にすることができます。</p>
SD-Access ランディングウィンドウとファブリックビュー	<p>このリリースでは、[SD-Access] タブが[Assurance] &gt; [Health]ダッシュボードに追加されています。ファブリック固有の正常性の情報は、ネットワークの正常性ウィンドウとは別のウィンドウに表示されます。SD-Access ファブリックネットワーク全体の正常性を表示し、ドリルダウンして、サイト固有およびデバイス固有のファブリックの正常性情報に関する詳細を表示できます。</p> <p><a href="#">SD-Access ファブリックの正常性の監視とトラブルシューティングおよびファブリックサイトの正常性の監視</a>を参照してください。</p>
PoE の拡張機能	<p>[Assurance] &gt; [Dashboards] &gt; [PoE] ダッシュボードでは、新しい [PoE AP Power Mode Distribution] ダッシュレットに、完全に電力が供給されている AP と部分的に電力が供給されている AP の分布が表示されます。</p> <p>さらに、AP の Power over Ethernet (PoE) 要素がデバイスとクライアントの詳細ウィンドウに表示されるようになりました。</p> <p><a href="#">ネットワーク内の PoE 対応デバイスの監視、デバイスの健全性のモニターとトラブルシューティング、およびクライアントデバイスの健全性のモニターとトラブルシューティング</a>を参照してください。</p>
クライアント 360 のオンボーディング時間	<p>クライアント 360 では、タイムラインスライダに、関連付け、認証、DHCP 時間などのクライアント オンボーディングの詳細が表示されます。</p> <p><a href="#">クライアントデバイスの健全性のモニターとトラブルシューティング</a>を参照してください。</p>

機能	説明
パストレースの拡張機能	<p>パストレースは、ネットワークパケットをキャプチャするために [Live Traffic] 機能が拡張されています。</p> <p>「<a href="#">パストレースの実行</a>」を参照してください</p>
Webex クライアント 360 の機能強化	<p>クライアント 360 では、Webex 360 を使用して、クライアントの Webex ミーティングを表示および監視します。</p> <p><a href="#">クライアントデバイスの健全性のモニターとトラブルシューティング</a>を参照してください。</p>
クライアントオンボーディングのサーバー遅延	<p>[Client Onboarding Times] ダッシュレットでは、最新のクライアントオンボーディングチャートの詳細ビューに、認証およびDHCP オンボーディングのサーバーおよび遅延時間が表示されます。</p> <p><a href="#">すべてのクライアントデバイスの健全性のモニターとトラブルシューティング</a>を参照してください。</p>
ネットワークヒートマップの機能強化	<p>[Network Heatmaps] ウィンドウは、CSV ファイルへのヒートマップデータの<b>エクスポート</b>をサポートしています。</p> <p><a href="#">ネットワークヒートマップ内アクセスポイントの比較</a>を参照してください。</p>
[Network Services] ダッシュレット	<p>[Overall Health] ダッシュボードの新しい [Network Services] ダッシュレットには、企業全体のワイヤレスコントローラによって報告されたすべての [AAA] および [DHCP] サーバーの成功および失敗したトランザクションの合計が表示されます。</p> <p><a href="#">企業の全体的な健全性のモニターとトラブルシューティング</a>を参照してください。</p>
ネットワーク サービス	<p>このリリースでは、[Network Services] タブが[Assurance] &gt; [Health]ダッシュボードに追加されています。[Network Services] タブでは、ワイヤレスコントローラによって報告された [AAA] および [DHCP] サーバーのすべてのトランザクションと遅延を表示および監視できます。</p> <p><a href="#">AAA ネットワークサービスの監視</a>、および<a href="#">DHCP ネットワークサービスの監視</a>を参照してください。</p>



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。